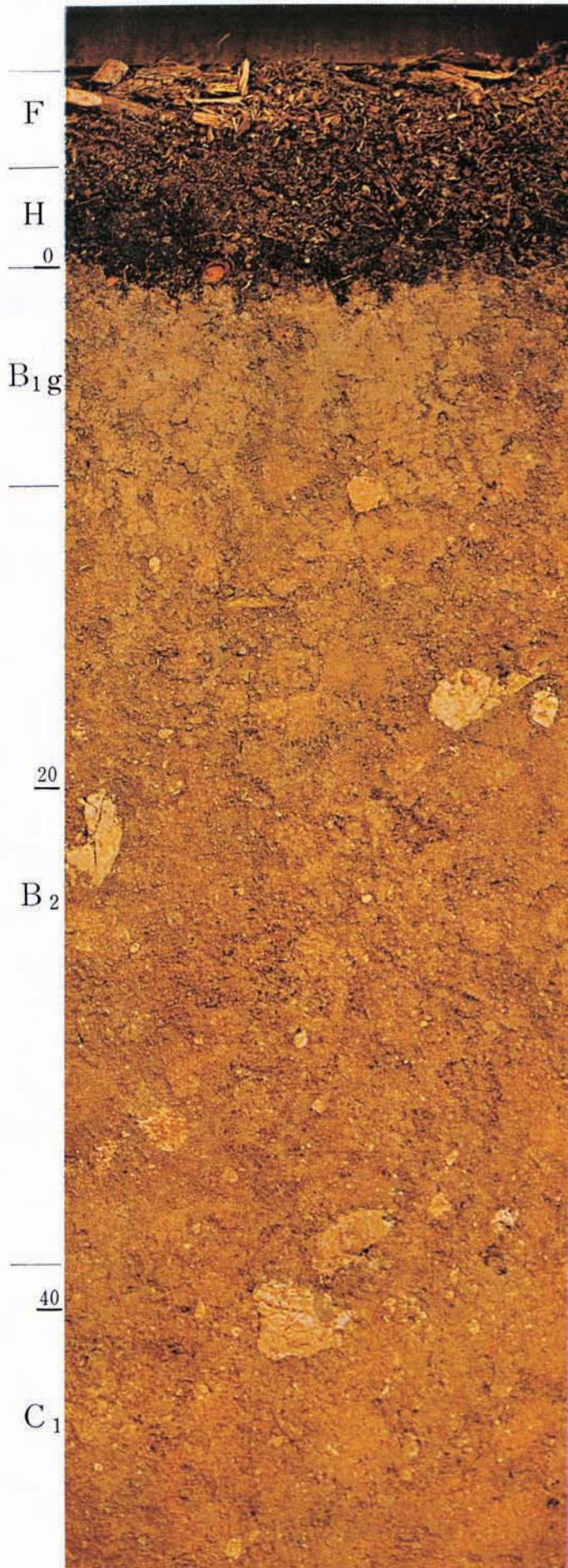


断面 10 B_{B(w)}

乾性褐色森林土（緩斜地型） その 2



母材料：第三系泥岩

採取地：上小阿仁事業区 109 林班い小班

海拔高：310 m

地 形：尾根の凸部

方 位：S 45° E

傾 斜：13°

林 相：スギ天然林

断面記載：

- L 0~1 cm スギおよび広葉樹の落葉。
- F 2 cm 粗に堆積，中根，小根が密に分布，腐根もある。
- H 7 cm 黒色 (10 YR ^{1.5}/₁)，団粒状，粗，多湿，小根が網状に分布，レンズ状に黒色 (10 YR ^{1.5}/₁)，団粒状の H 層をはさむ。
- B_{1g} 10 cm 灰黄褐色 (10 YR ⁶/₂)，腐植を含む，礫を含む，重埴土，カベ状，堅，潤，根あり。
- B₂ 40 cm 明黄褐色 (10 YR ⁶/₆)，腐植乏し，礫を含む，重埴土，カベ状，堅，潤，根あり。
- C₁ 30 cm 明黄褐色 (7.5 YR ⁷/₆)，礫を含む，軽埴土，カベ状，堅，潤，根なし。

採取年月日：1965年 5 月28日

層位の組合せ、推移状態は B_B 型土壌と同様であるが、表層に粒状構造や堅果状構造があまり見られず、H層を主とした A₀ 層の直下からカベ状の A-B 層ないし B 層となり、土層全体が埴質でカベ状を呈するのが特徴である。ときには、A₀ 層の直下に灰白色化した部分が層状または斑状にあらわれることもある。これは表層から還元の影響によるものと考えられる。

わが国の脊梁山脈から裏日本にかけて、主として鈍頂の尾根に分布しており、新第三系頁岩や火山灰の古い堆積面など重粘な母材であるのが普通である。このようなものを、B_{B(w)} 型として区分することがある。

降水量、主として降雪量が多いのが普通で、土壌の理化学性の悪さと相まって、カラマツの植栽には適さない。ヒノキも問題が多い。植栽樹種としてはスギが考えられるが、皆伐後は林が閉さるまでは、植栽木の生育がきわめて悪いので、長伐期を必要とする。



採取地の地形および林相

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	C E C m.e	置 換 性			Ca/CEC	Mg/CEC	K/CEC
							Ca	Mg	K			
H	40.6	1.62	25	4.4	10.2	120	22.59	10.83	0.91	18.7	9.0	7.6
B _{1g}	4.3	0.18	24	4.5	67.2	32	2.74	2.02	0.21	8.5	6.2	0.7
B ₂	2.8	0.16	18	4.7	72.4	39	1.71	1.69	0.15	4.4	4.3	0.4
C ₁	1.0	0.05	20	4.6	125.2	39	1.48	1.59	0.12	3.8	4.0	0.3

層 位	土壌中の細粒(0.2~0.1 mm)の鉱物 100 分比							土 壌 中 の 粘 土 鉱 物				
	石 英	長 石	火 山 ガラス	軽 石	輝 石	磁鉄鉱	泥岩細粒	アロフエン	ギブサイト	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	14~15 Å 鉱 物	
H	17.7	7.8	20.3	10.5	1.3		42.4	+	+			
B _{1g}	35.9	6.7	6.7	31.3	8.2	1.5	9.7	+	+			
B ₂	11.3	1.6	1.5		2.7	0.4	82.5	++	+	+		×
C ₁	48.5	8.0	8.6		1.8		33.1	++	+	+		+
C ₂	31.2	4.6	4.6				59.6	+++	+	+		×

層 位	粗 砂	細 砂	微 砂	粘 土	土 性
B _{1g}	4.4	10.0	37.8	47.8	hC
B ₂	11.3	15.1	26.4	47.1	hC
C ₁	31.6	17.9	21.1	29.5	IC